

人を、想う力。街を、想う力。

三菱地所グループ

2021 年 10 月 20 日

報道関係各位

三菱地所株式会社
三菱地所レジデンス株式会社
三菱地所ホーム株式会社
株式会社三菱地所設計

2021 年度グッドデザイン賞 三菱地所グループ全体で 8 件受賞



- ・「WORK×ation Site 軽井沢」(三菱地所)
- ・「型枠木材のトレーサビリティ認証スキーム」
(三菱地所レジデンス)
- ・「天然木ノンビス工法外装材」(三菱地所ホーム)
- ・「大手町ビル・リノベーション」(三菱地所設計) など

～三菱地所グループ 19 年連続の受賞～

三菱地所グループの三菱地所株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、三菱地所ホーム株式会社、株式会社三菱地所設計は、2021 年度のグッドデザイン賞において、軽井沢のワーケーションオフィス「WORK×ation Site 軽井沢」、「型枠木材のトレーサビリティ認証スキーム」、サステナブル外装材「天然木ノンビス工法外装材」、オフィスビル「大手町ビル・リノベーション」など、合計 8 件を受賞しました。

<2021 年度グッドデザイン賞 受賞プロジェクト一覧 (全 8 件) >

- 【「WORK×ation Site 軽井沢」】
- 【「型枠木材のトレーサビリティ認証スキーム」】
- 【ホテル等宿泊施設「ザ・パークレックス 大濠公園」】
- 【集合住宅「瀬田の杜 Garden & Terrace」】
- 【サステナブル外装材[都市の住宅を豊かにする、耐久性、防火性、メンテナンスに優れた「天然木ノンビス工法外装材」]
- 【オフィス「大手町ビル・リノベーション」】
- 【事務所ビル「LIXIL WING ビル HOSHI」】
- 【事務所・飲食店舗「明産霞が関ビル」】



▲「WORK×ation Site 軽井沢」

グッドデザイン賞は、三菱地所グループとして、1998 年度に「クイーンズスクエア横浜」で初めて受賞。2003 年度からは 19 年連続の受賞となります。三菱地所グループは、今後も「人を、想う力。街を、想う力。」というブランドスローガンのもと、まちづくりを通じて社会に貢献していきます。



▲型枠イメージ



▲天然木ノンビス工法外装材イメージ



▲リノベーション後の大手町ビル

■受賞プロジェクトの紹介

1. ワーケーションオフィス「WORK×ation Site 軽井沢」（三菱地所）

長野県軽井沢のラウンドアバウト（六本辻）に面する建物のリノベーションとフォリーの増築プロジェクト。リノベーションは飲食店だった建物に光と風を新たに取り入れながらフレキシブルなワークスタイルに対応するワーケーションオフィスへと変更。フォリーはリラックス空間と共に景観規制のなかで「何も書かないビルボード」の役割も果たす。

2020年7月にグランドオープンした「WORK×ation Site 軽井沢」は、開発合宿やプロジェクト会議等を目的として都心の大企業やスタートアップ企業等様々な業態の企業様にご利用いただいている。

「普通のオフィスでは味わえない解放感があつた」、「環境が変わったことで普段より一歩踏み込んだ会話ができ、同僚の事をより深く知るきっかけになった」等のポジティブな感想が多く寄せられている。

（評価コメント）

軽井沢の商業施設をシェアオフィスにリノベーションした作品。COVID-19の蔓延により生活の拠点を都心から、さほど遠くない地方へと移す動きが加速しているが、軽井沢はその代表的な地域となっている。このプロジェクトも新しい働き方をサポートするインキュベーション施設として先駆的な試みと位置付けられる。外観的なデザインの手入れとしては外装材の変更程度の小規模に留められているが、そこに小さな木製フォリーを新たに加えるだけで、まちから見た印象を刷新することに成功しているなど、建築家の高い力量をよく示している。プログラムとともにそのデザイン性も高く評価した。



【概要】

所在地：長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢字野沢原1323番1387（住居表示）（六本辻ラウンドアバウト）

アクセス：JR「軽井沢」駅から徒歩約14分

面積：延床面積約253 m²（約77坪）＊最大75名利用可

施設構成：執務室3部屋（約49 m²、約57 m²、約59 m²）、簡易カフェ付帯

設計施工監理：株式会社田邊雄之建築設計事務所

協賛企業：株式会社 ACTUS（施設内什器・備品）



<住宅事業グループ～18年連続受賞～>

2. 型枠木材のトレーサビリティ認証スキーム（三菱地所レジデンス）

マンション建設時に利用するコンクリート打設用の「型枠木材」は、建設に利用する木材の約45%を占める。一方、型枠材は現場に届くまでに多数の業者を経由するため、出所追跡の管理が極めて困難であり、認証木材と非認証木材が混じり合う現状があった。違法木材の排除のため、国内で未整備だった型枠木材認証スキームを新たに確立した。

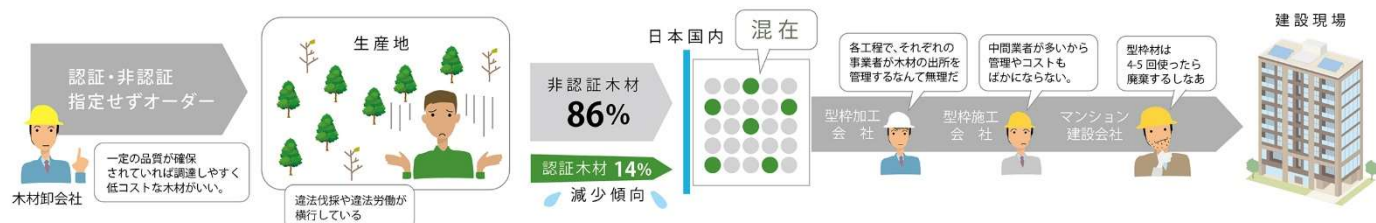
三菱地所レジデンスは2030年度までに全ての新築分譲マンションで、型枠木材のトレーサビリティを確保すると公表。達成に向け、日本初の第三者認証スキームを「ザ・パークハウス 駒沢レジデンス」に導入した後、「ザ・パークハウス 高輪松ヶ丘」で型枠木材を対象として世界で初めてFSC基準に基づく国際認証を取得、さらに「ザ・パークハウス 聖蹟桜ヶ丘」では国産型枠用合板を採用するなど、取り組みを強化している。

（評価コメント）

いかに地球全体で、木材の生産や持続可能な仕組みや流通を作ると良いかを考えた際に、劣悪な生産地の労働環境を変えるために、認証している材料を日本の流通でも顕在化し、材料が常に生産地とつながるスキームとなることが素晴らしい。このようなデザインがスタンダードになると、日本の建築業界でも世界標準の木材流通の考え方やトレーサビリティのチェックが効くようになるので、今後は、この価値を業界全体に広げていくことが大切である。

Before

国内流通過程において、木材のトレーサビリティを実現するための認証システムは存在していなかった。このため海外から認証材を購入するモチベーションが保てず、国内を流通する86%が非認証木材となっている。

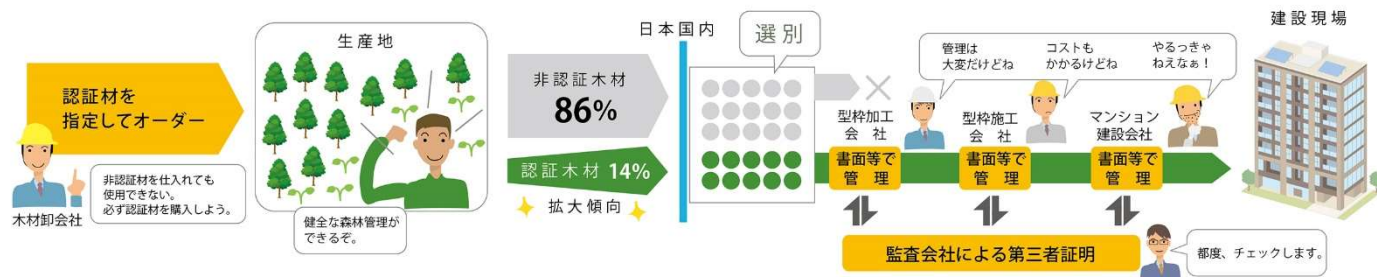


日本初！

大量に木材を使用する型枠材に着目。 国内流通における認証スキームを創出し、 トレーサビリティを実現。

After

既存の監査会社と協力し、型枠木材の流通過程における認証スキームを創出した。複数の業種間において管理・運用ルールを統一し、第三者機関による認証を開始した。



3. ホテル等宿泊施設「ザ・パークレックス 大濠公園」(三菱地所レジデンス)

築 40 年のオフィスビルを宿泊施設へコンバージョンし再生。総面積約 39 万 8 千平方メートル、全国有数の水景公園である大濠公園前という立地特性を活かし、宿泊施設に留まらない街と公園のインターフェイスを実現。カフェやランニングステーションを設置し、公園利用者にも開放。多数の客室プランを用意し、多様な宿泊者とまちがつながる仕掛けを作った。

本プロジェクトは 2014 年に三菱地所レジデンスの新規事業として始まった「Re ビル事業」スキーム(2015 年に「築古ビルのバリューアップ転貸事業」でグッドデザイン賞ベスト 100 を受賞)を用いており、地方では 2017 年に「ザ・パークレックス 博多」を展開している。首都圏では 15 物件を事業化、オフィスだけではなく、飲食・物販店舗や共同住宅、シェアハウスなど多様なアセットへの転用を行っており、宿泊施設は本物件が初となる。

(評価コメント)

近年様々な特徴を持ったホテルができてきている。それぞれに工夫を凝らした企画が増えてきている中、この福岡の築 40 年のオフィスを改装したホテルは福岡の繁華街からは離れているが大濠公園に近接しているという恵まれた立地を生かし 1F にカフェとランニングセンターを設け、公園という地域資源を活性化することに一役買っている。昨今の健康ブームによりランニング人口が増えていることを考えると十分な需要があることが予想できる。外装内装共に華美ではなくビシャン仕上げなど質感にこだわったデザインで泊まる人の居心地を考えた空間作りとなっている。企画、そしてデザイン共に地域性をうまく捉え、実現させている点が評価された。



【概 要】

ホ ス テ ル 名 称 : UNPLAN Fukuoka

所 在 地 : 福岡県福岡市中央区大手門 3 丁目 4 番 1 号

交 通 : 福岡市地下鉄空港線「大濠公園」駅徒歩 1 分

敷 地 面 積 : 417.18 m²

延 床 面 積 : 1,667.80 m²

構 造 ・ 規 模 : 鉄筋コンクリート造地上 5 階建

ホ ス テ ル 面 積 : 1,607.81 m²

客 室 : ドミトリー 62 床、POD 72 床、個室 15 室

設 計 監 理 : 株式会社オープン・エー

ホテル運営会社 : 株式会社 FIKA

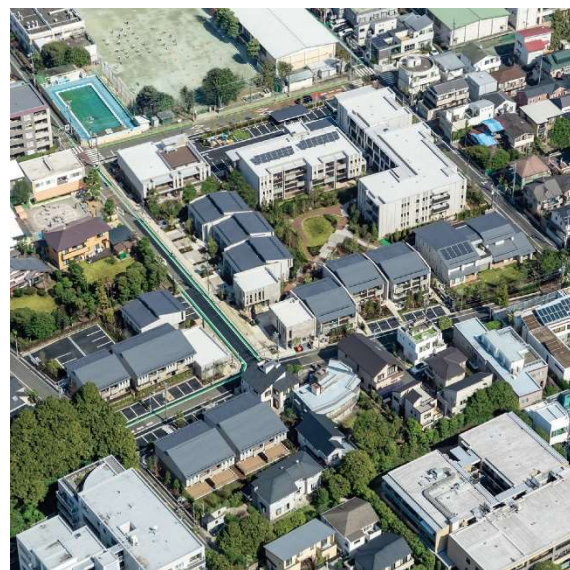
4. 集合住宅「瀬田の杜 Garden & Terrace」(三菱地所レジデンス)

駅から距離のある居住中心地域(世田谷区瀬田エリア)における複合用途建物の開発。単なる共同住宅の開発に捉われず、【地域の人々が集う空間】【様々なライフスタイルを選択できる空間】を創出することで、コンパクトシティともいえる「街の拠点」を生み出し、将来高齢化が進行し、人流が停滞する恐れのある街に新陳代謝のきっかけを与えた。

街の拠点・新陳代謝のきっかけをつくるために、本計画は【地域の人々が集う空間】として、共同住宅(賃貸住宅)を中心に店舗付住宅、SOHO、クリニック、保育所、集会室など「居住機能に捉われない様々な用途」を建物に持たせた。そして、かつての風景である「杜」を再現するために、建物ボリュームを分棟・分節しながら配置することで余白を生み出し、その余白が人々の居場所となる広場・空間を創出できるよう計画した。次に、【様々なライフスタイルを選択】できるよう、住宅用として、共同住宅の他にメゾネット形式のタウンハウスを設けた。

(評価コメント)

低層の住宅地に、複数のデザインコードで住宅や店舗を挿入した、大変興味深い計画である。デザインコードが複数あることで、計画として周囲から浮かず、まちなみに溶け込みやすくなっている。陸屋根の店舗が動線の要となる場所に配されるなど、実際のデザインと全体計画が適切に連動していることも秀逸である。一方で、地域づくりとしての要となるであろう店舗などの非住宅要素がもたらすものについては、これからの展開が期待されるところである。



【概要】

所在地：東京都世田谷区瀬田 2 丁目 10-14 他

敷地面積：9,330.89 m²

構造・規模：鉄筋コンクリート造地上 3 階建及び 2 階建 全 9 棟

総戸数：55 戸(共同住宅 28 戸、タウンハウス 23 戸、店舗住戸 2 戸、SOHO 2 戸)

その他保育所 1 か所、クリニック 1 か所

延床面積：7,064.21 m²

設計・監理：株式会社アール・アイ・エー

施工：東急建設株式会社

竣工：2021 年 2 月

5. サステナブル外装材[都市の住宅を豊かにする、耐久性、防火性、メンテナンス性に優れた「天然木ノンビス工法外装材」](三菱地所ホーム)

自然が失われつつある都市部において、天然の豊かさを感じられる天然木外装材を木製品メーカー「VETEDY group」と共同開発。既存の天然木外装材の課題であった耐久性、防火性、メンテナンス性、施工性をノンビス工法の採用によって解決。経年変化後は退色しない美しい木材による、木視率を考慮した自由度の高いファサードデザインによって、街並みを整え、都市環境の向上に寄与する。

ビスの脳天打ちから生じる木の割れ、劣化、見栄えの悪さを解決する、ノンビス工法により、意匠性・耐久性を向上。専用樹脂留具を下地に設置し、天然木をはめ込んでいくので、施工性がよく、工期短縮にもつながる。また、部分的に交換可能で、メンテナンスも容易。都市部では取り入れやすい外装材とするため、躯体を告示の防火構造壁として、45分準耐火建築物まで使用可能とした。

(評価コメント)

カメルーン産のパドックというバイオリン製造にも使用される元々赤身のある天然広葉樹を用い、その特性を生かし加工後の安定したシルバークレー（3ヶ月間の天日干し）の表情が美しい天然木外装材である。都市部における法的制約や意匠性、施工性を明快に解決していることも優れる点。特にビスを使用せず、部品交換も可能でメンテナンス性にも優れた専用の樹脂留め具を同時開発している点もハイレベルな製品開発と言える。住宅外部を独自の指標である「木視率」という基準で捉え、通常の外構・植栽で1割、そこへ本製品による外壁で4割、つまり木視率合計5割を目指すという提起も興味深い。天然木の外装材における施工性やコスト、経年変化やメンテナンス性と、様々な不安定要素から解放される意義ある製品である。

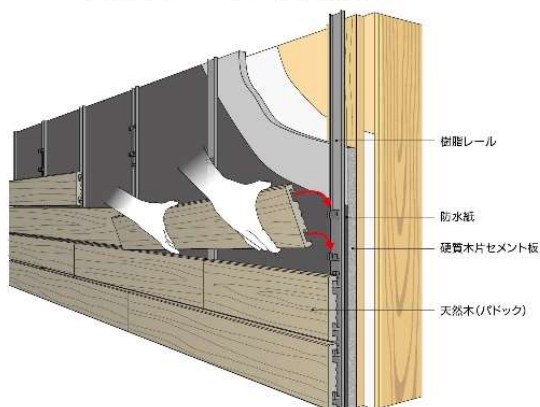


▲施工イメージ



▲オーダーグラン赤坂のバルコニー

天然木ノンビス工法外装材



都市部の木化促進を実現する「耐久性・防火性・メンテナンス性」を解決した外装材システム。



天日干しビフォー



天日干しアフター

▲経年変化の様子

<設計監理事業グループ>

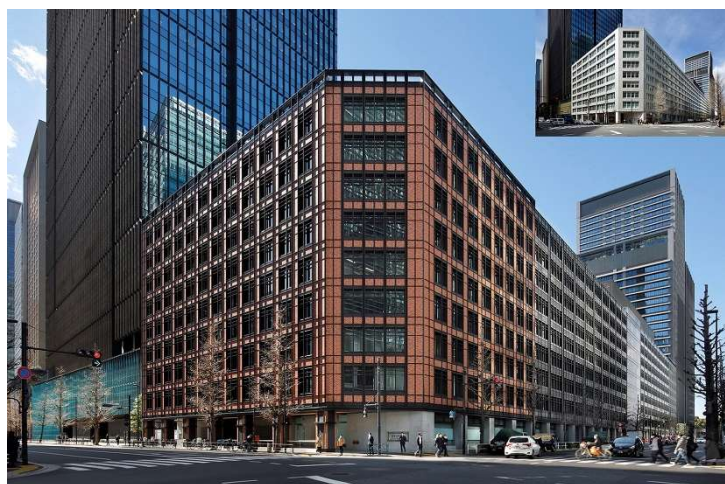
6. オフィス「大手町ビル・リノベーション」(三菱地所設計)

「100年ビルへの挑戦」と位置付けた、1958年竣工の大手町ビルの大規模リノベーション。建設当時の小割りの柱スパンや長い廊下形式を、今日のフィンテックやベンチャー、スタートアップといった小規模オフィス需要に適するものと捉え、築60年の節目に外装・共用部内装・地下店舗の設備増強・屋上活用を主眼に改修した。

外装改修にあたっては、周辺環境との関係性を尊重しながら、全体を緩やかに統合できないかと考えた。水平垂直に組まれたフレームで全体を覆い、統一感を持たせつつ、大名小路の煉瓦タイル、日比谷通りの皇居石垣をモチーフとして埋め込んだ。中央部は外装を透明なカーテンウォール、床仕上げを仲通りの路面と同じ素材とし、有楽町・丸の内エリアからまちのつながりを、建物を貫いて延伸させている。

(評価コメント)

どこか懐かしさも感じさせるような建物の表情が目をつけた。テナントが居ながらの工事ということで外側から“尺取り虫”のように足場を動かしながら工事を行う際の効率化と建物全体に心地よいリズムを与えるフレームがとても効いている。このフレームによって、元々このビルが持っている建設当時の小割りの柱スパンが意匠として活かされている。それが懐かしく感じさせた所以かもしれない。さらに内部がこの柱スパンを生かしスタートアップやベンチャーなどの20坪程度の小割りのオフィスが入るように計画されている点も大手町に新しい風が吹くことを予感させ興味深い。100年建築とはこのように読み替えられながら建築が受け継がれていくことなのかもしれない。



【概要】

所在地：東京都千代田区大手町1丁目6番1号

敷地面積：10,496.03 m²

構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造・地上9階建、地下3階建、塔屋3階建

延床面積：111,272.72 m²

設計・監理：株式会社三菱地所設計

株式会社メック・デザイン・インターナショナル（共用部内装デザイン）

施工：大成建設株式会社、東光電気工事株式会社、第一工業株式会社、斎久工業株式会社

竣工：1958年4月（既存）、2021年3月（リノベーション）

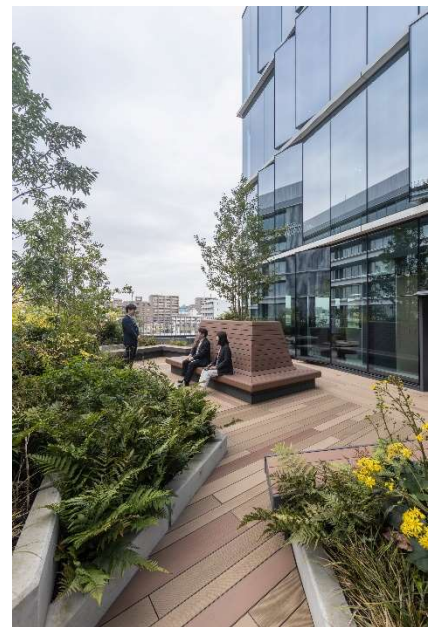
7. 事務所ビル「LIXIL WING ビル HOSHI」(三菱地所設計・LIXIL)

時代の変化に応じた働き方や働く場を求めるオフィスワーカーのために、省エネルギーの追求だけではなく、自然換気による快適性を加えた「都市の風と融合するオフィス」を目指した。これを実現するために開発した「外部環境から導かれたファサード」と「ハイブリッド環境制御システム」に包まれた、サステナブルなオフィスの新しい提案である。

LIXIL のグローバルな本社機能の集約に伴い、HOSHI を含む 4 つの棟で構成される本社 WING では従業員同士の豊かなコミュニケーションを生み出せるような場が求められた。さまざまな会話が偶発的に生まれるコミュニケーションの空間を、建物の外部や内部、あるいはオフィス専有部と共用部を跨ぐように計画していくことで、これらの境界が曖昧になり、全体が回遊性の高いワンルームのような空間になった。

(評価コメント)

呼吸するファサードシステムを持ったオフィスビルである。風のシミュレーションから卓越風の動きに合わせて窓ガラスが縦軸回転で角度がわずかに振れている。風の動きが可視化されたファサードは角度の違うガラスによって万華鏡のように周囲環境を映し込んでいる。ガラスの角度が振れたギャップ部分が開口となっていることで、自然換気と空調連動の「ハイブリッド環境制御システム」が大げさに現れることなく自然にファサードデザインに溶け込んでいるのが見事である。ビル外装の新しい可能性へのチャレンジとデザインが評価された。



【概要】

所在地：東京都江東区大島2-1-1

敷地面積：18,680.30㎡

構造・規模：鉄骨造（免震構造）地上8階建

延床面積：59,225.51㎡（内HOSHI 14,408.54㎡）

設計：株式会社三菱地所設計

施工：鹿島建設株式会社

竣工：2019 年 10 月

8. 事務所、飲食店舗「明産霞が関ビル」(三菱地所設計・明産)

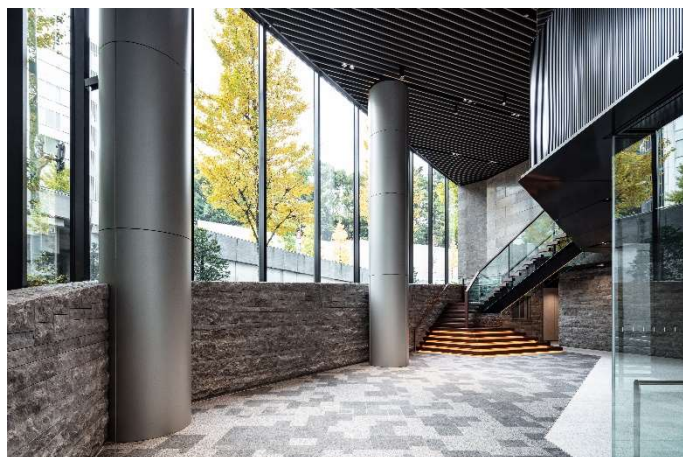
首相官邸が建つ緑深い高台から溜池交差点へと至る斜面地の裾に位置するグリッド状の古い街並みの中を首都高速が通ったことで生まれた、道で囲まれた三角州のような敷地に建つ旧明産富士ビルの建て替え計画である。周辺環境とのつながりや高さ方向で変化するまちとの関係性を丁寧にスタッピングし、コンテキストの継承・新加の両立を実現する場を創出した。

敷地の頂点方向にある溜池交差点へ向け、頂点部をガラスカーテンウォールとした。三角形の2辺は端正な格子の中に素朴感のある石壁を交差点方向へ傾斜して覆っている。これにより、交差点からの軸線を受けながら高速道路上部のスペース越しに首相官邸の緑、まちへとつながるファサードとした。敷地に対して最大ボリュームを建てて床面積を確保する考え方ではなく、いかにしてグランドレベルの高低差をまちにつなぐかを大切にしたいと考えた。

(評価コメント)

溜池山王の三角州の様な変形敷地に計画されたオフィスビル。三角州はその一边を首都高速の高架に沿ってカーブされ、敷地は勾配を持つなど、官庁街や飲み屋街といった周辺地域特性の混在と合わせて、物理的にも文化的にも、多層的なコンテキストを持っている。

計画はこれらの背景要素を丁寧に読み解きデザイン的に応答することで、ランドマーク性を持ちながらも地域にしっかりと接続した固有の佇まいを獲得することに成功している。首都高速上を走る時、遠くからまた近くから、この建築の姿を眺める機会が幾度もあるが、どの距離・位置から見ても、常に個性を持ちながらも上品であり、東京の都市景観の向上に寄与していることが良く分かる。高く評価したい。



【概要】

所 在 地：東京都千代田区霞が関3-7-4

敷 地 面 積：583.93㎡

構造・規模：地上：鉄骨造

地下：鉄骨鉄筋コンクリート造

鉄筋コンクリート造

地上8階建地下1階建

延 床 面 積：4,395.74㎡

設 計：株式会社三菱地所設計

施 工：株式会社大林組

竣 工：2020年12月

<参考>

●三菱地所グループ グッドデザイン賞受賞実績

1998 年度	「クイーンズスクエア横浜」
2000 年度	「丸の内仲通り」
2001 年度	「国立室戸少年自然の家海望台」
2003 年度	「丸の内ビルディング」
2004 年度	「M.M.TOWERS」「日本テレビタワー」「品川セントラルガーデン」
2005 年度	「ザ・フィネスト上野毛パークハウス」「洗足池スタイルハウス」「フォレスト南平台」 「ザ・ハウス南麻布」
2006 年度	「井の頭公園パークハウス吉祥寺南町」「追手門学院大学守衛所」 「明治安田生命ビル街区再開発」
2007 年度	「セントラルガーデン・レジデンス」「ザ・スタジオ（共同事業）」 「読売北海道ビル」「オンワード仙台支店」「国際文化会館」 「横浜ベイクォーター」「新丸ビル」
2008 年度	「M.M.TOWERS FORESIS」「CAPITAL MARK TOWER（共同事業）」 「成蹊大学情報図書館」
2009 年度	「本郷パークハウス ザ・プレミアムフォート」「The Kitahama」
2010 年度	「パークハウス フォレストリエ」「パークハウス 木々 津田沼前原」 「パークハウス瀬田一丁目」「スタイルハウス目黒緑が丘」 「ミッドオアシスタワーズ」「パークハビオ駒沢大学」「soleco（ソレッコ）」
2011 年度	「パークハウス吉祥寺 OIKOS」「パークハウス江ノ島」「豊洲フロント」 「大鉄工業本社ビル」「成蹊学園キャンパス」
2012 年度	「ザ・パークハウス 茅ヶ崎東海岸南」「ザ・パークハウス 六番町」 「5つのアイズ」「スマイラボ」「八事山興正寺 境内整備計画Ⅰ」
2013 年度	「ザ・パークハウス 池田山」「東洋文庫」「熊谷商工信用組合本店」
2014 年度	「丸の内仲通り」「MARK IS みなとみらい」「『はらくつつい東北』シリーズ」 「ザ・パークハウス 代官山レジデンス」「ザ・パークハウス 渋谷美竹」 「ザ・パークハウス 戸塚」「ドレッセ世田谷桜レジデンス（共同事業）」 「スーパータックフィット MNT（共同事業）」 「全館空調エアロテックのダクトレイアウトシステム」「制震賃貸住宅エムアセット」
2015 年度	「ザ・パークハウス グラン 千鳥ヶ淵」ベスト 100 受賞 「マンションのランニングコストの見える化『マンション家計簿』」ベスト 100 受賞 （グッドデザイン・未来づくりデザイン賞受賞） 「築古ビルのバリューアップ転貸事業『Re ビル』」ベスト 100 受賞 「ザ・パークハウス グラン 三番町」「ザ・パークハウス 上鷺宮」 「ザ・パークハウス 追浜」「SKYZ TOWER&GARDEN（共同事業）」 「パークハビオ赤坂タワー」「西新宿 CLASS in the forest」「プレーン・ルームズ」 「そなえるカルタ」「BIO NET INITIATIVE」「脇浜寮」
2016 年度	「ザ・パークハウス 晴海タワーズ」「賃貸物件の無人内覧サービス」 「遊休資産となった社宅再生転貸事業」「新築分譲マンションのための研究開発手法」 「渋谷董友ビル」「本社ビル+企業ミュージアム『安川電機みらい館』」 「『オーダーグラン』駒沢ステージ2 ホームギャラリー」
2017 年度	「ザ・パークハウス グラン 南青山」「ザ・パークハウス 市谷甲良町」 「ザ・パークハウス 東陽町レジデンス」「プレイスヴィラ喜多見」 「BAYZ TOWER&GARDEN」「集合住宅向け PC 工法のシリーズ化」 「空気の価値化『新マンションエアロテック』」「住まいの中に、木の小部屋『箱の間』」 「大手町フィナンシャルシティ グランキューブ」「星のや東京」

2018 年度	「ザ・パークハウス 西新宿タワー60」「蘆花公園 ザ・レジデンス」 「ザ・パークハウス 中之島タワー」「ザ・パークハウス 新宿御苑」 『『そなえるドリル』ドナタデモプロジェクト』 『『各住戸玄関前宅配ボックス』を利用した集合住宅における新しい宅配システム』 「グリーン付家具『ボタニカルファニチャー』」「ONE ORDER 浜田山ホームギャラリー」 「木造住宅最高レベルの高遮音床」「旧名古屋銀行本店ビル(THE CONDER HOUSE)」 「グランモール公園再整備」「横浜ゴム株式会社 研究開発センター第二ビル」 「X-PRESS 有楽町」
2019 年度	「ザ・パークハウス 五番町」「ザ・パークハウス 桜坂サンリヤン」 「ザ・パークハウス あざみ野一丁目」 「Under construction (Un.C./アंक)」 「幕張ベイパーク クロスタワー&レジデンス」 「連続両面大開口と国産 100%CLT スラブによる深い軒下空間を有する千里・新宿モデルハウス」 「KOJIMACHI TERRACE」 「ヒューリックスクエア東京」
2020 年度	「ザ・パークハウス 神戸タワー」「hitoto 広島 The Tower」 「グランドメゾン浄水ガーデンシティ フォレストゲート」 「太陽光でお湯を沸かす ZEH・M スキーム『ソレイユ』」 「一般社団法人幕張ベイパークエリアマネジメント (B・Pam)」 「丸の内 15 丁目プロジェクト」 「CIRCLES ～人の輪ができる、まちと繋がるオフィス～」 「CLT PARK HARUMI」「福島テレビ株式会社本社」「Medicha (メディーチャ)」
2021 年度	「WORK×ation Site 軽井沢」 「型枠木材のトレーサビリティ認証スキーム」「ザ・パークレックス 大濠公園」 「瀬田の杜 Garden & Terrace」 「天然木ノンビス工法外装材」「大手町ビル・リノベーション」 「LIXIL WING ビル HOSHI」 「明産霞が関ビル」

以 上